

<b>団体名</b>	三原市	<b>所属</b>	まちづくり推進課	<b>他団体等との連携</b>	地域住民
<b>連絡先</b>	まちづくり推進係 (0848)67-6184				

<b>取組事例名</b>	大和地域活性化への取組	<b>取組期間</b>	平成23年4月～
--------------	-------------	-------------	----------

<b>取組の概要 ～ デマンド交通事業 大和ふれあいタクシーを契機として</b>	
<p>大和地域の自治振興会の9組織の上部組織として、より積極的な協働のまちづくりを目指して、平成23年4月、大和町自治振興会連絡協議会（平成17年2月設立）から大和町自治振興連合会に名称変更し、新たに連合会事務所を設置するとともに、まちづくり推進部会、コミュニティー交通部会をはじめ総務部会、地域福祉部会、環境衛生部会、保健体育部会、産業文化部会の計7部会体制で、大和地域の活性化への取組を実施している。</p>	
<b>取組の背景 ～ 少子・高齢化の現状</b>	
<p>平成17年3月に賀茂郡大和町から三原市に合併。 三原市西部に位置し、面積は、121.8㎡で三原市の25%を占め、地域全体が中山間地域である。少子・高齢化による過疎化が進行し、地域活性化は大きな課題と考える。</p>	
<b>取組のねらい ～ より住みやすい大和町づくりのために</b>	
<p>地域活性化を実現するため、そこで暮らす住民と行政の協働で、ニーズに沿ったより良い方法で解決・実施すること。 地域住民が住みよいまちの実現を図ること。</p>	
<b>取組の具体的内容 ～ 町内全体の行事を実施</b>	
<p>(1) 大和ふれあいタクシーの運行 合併以前からデマンド交通事業を三原臨空商工会（旧大和町商工会）が運営主体として実施してきたが継続困難となり、平成23年4月から三原市から補助を受け、大和町自治振興連合会が事業主体として実施している。</p>	
<p>(2) 大和元気まつりの開催と企画運営 合併後白竜湖花火大会に代わる行事として新たに立ち上げた町内のまつりであり、集客は6,000人規模である。各自治振興会との連絡調整や開催のための企画運営を実施している。</p>	
<p>(3) 市民体育大会選手団の編成と大会参加 三原市全体で実施する市民体育大会参加のため、各自治振興会との連絡調整や練習等の設定、当日の参加運営を実施している。</p>	
<p>(4) ウォーキング大会の開催 三原市との協働事業として実施し、大和町民全体の健康増進に対する意識の向上と、町外からの参加を得て大和の自然環境などの良さを知ってもらう機会となっている。</p> <p>ア ウォーキング大会、講習会の実施 イ ウォーキングコース設定とマップの作成 ウ ウォーキングロードの標識設置</p>	

### 取組を進めていく中での課題・問題点 ～ 住民組織活動を担う人材育成

過疎化・高齢化、価値観の多様化による後継者・担い手不足の問題は深刻であり、今後人材育成に向けた取組が必要である。

また、構成員の減少に伴う収入の減少等により、住民組織の活動資金不足が生じている。

### 創意工夫した点 ～ 住民ニーズにより早く対応

#### (1) 組織運営について

組織全体の工夫として7専門部会を設置し、個々の担当者への役割軽減や、専門部会による検討など、住民ニーズに素早く対応できるよう変更した。

#### (2) 活動資金について

市が実施する市民提案型協働事業を活用し、現状で行える事業を行っている。

### 取組の成果（効果） ～ 地域全体の活性化へ

#### (1) 大和ふれあいタクシーの運行

ア 地域住民、特に高齢者の移動負担を軽減する町内の生活交通手段が維持できた。

イ 町内の生活交通としてだけでなく、町外へ出るための手段が維持できた。

ウ 住民組織で実施することで、きめ細かく柔軟でかつ効率的な運行ができた。

#### (2) 大和元気まつりの開催と企画運営

町内全域の住民が一同に集まることできる場の設定ができた。

#### (3) 市民体育大会選手団の編成と大会参加

各自治振興区では困難な調整が全体としてできた。

#### (4) ウォーキング大会の開催

新たなイベントを開催することにより、町外から大勢の参加を募ることができた。

### 今後の展開 ～ 住み続けたい大和町のために

(1) 活動の継続が重要であるが経済的負担も大きいことから、事業を進めて行くための予算化、また自主財源の確保が必要である。

(2) 組織内の人材育成が課題であり、推進力を保つことが重要である。

(3) 高齢者の買い物支援、福祉・介護支援、高齢者見守り支援への事業実施にむけた取組を行う。

### 他団体へのアドバイス ～ 地域住民による課題解決に向けた環境づくり

中山間地域で抱える課題は、地域ごとにまちまちではあるが、地域で暮らす住民が常に課題解決を話し合い行動できる環境づくりが重要であると考えます。